

2001年8月27日

シリーズ調査「われら信州人」
「郷土・地域意識編」
第2回調査
報告書

(2000年8月1日～8月31日調査)

調査の設計	1
サンプルの内容	3
結果の概要	6
単純集計	9



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<http://www.nagano-yoron.or.jp>

I 調査の設計

調査の目的

私たちの郷土と県民の今日を知り、明日への指針として生かしていくために、1994年の当協会の調査活動スタート以来、1年1テーマで取り組んでいる長期シリーズ「われら信州人」調査は第6回を迎えた。当初の計画どおり、テーマは二巡目に入り「郷土・地域意識」編の再スタートをきる。

前回調査から6年間、長野オリンピックと不況を経て、長野県（信州）への愛着度、住民気質、地域社会とのかかわりなどを軸に、県民の考え方や行動がどのように変わりつつあるのか、多角的に探る。

調査の全般にわたり、飽戸弘東洋英和女学院大学教授（東京大学名誉教授）と坂井博通埼玉県立大学助教授の監修を仰ぎ、報告書に特別リポートを寄稿していただいた。

調査の設計

調査対象	長野県内に住む20歳以上の男女1000人
抽出方法	層化二段無作為抽出法。対象者は各市町村の選挙人名簿から抽出
調査方法	個別面接聴取
調査期間	2000年8月1日～8月31日
調査地点	17市15町8村の67地点（1地区各15人・1村1地区のみ10人）

回収結果

有効回収数（率）	875人（87.5%）	男性472人	女性403人
	前回は909人（90.9%）	男性409人	女性500人

<シリーズ「われら信州人」のテーマ>

第一回「郷土・地域意識編」平成6年11月調査

<主な調査項目>

- ・住みやすさ
- ・愛着感
- ・県民として誇れるもの、自慢できるもの
- ・長野県民の気質
- ・長野県の将来の見通し
- ・住み続けたいか

第二回「生活編」平成7年11・12月調査

<主な調査項目>

- ・現在の生活の満足度
- ・普段感じている不安や悩み
- ・今関心を寄せているもの
- ・作っている自家製の漬物
- ・情報・通信機器の中で現在家庭にあるものまた今後購入したいもの
- ・自由な時間の過ごし方
- ・隣近所との交際状況
- ・食生活において気をつかうこと
- ・洋服・衣類を選ぶのは誰

第三回「自然と環境」平成9年3月調査

<主な調査項目>

- ・信州の自然について
- ・信州の自然は守られているか
- ・10年前と比べてどうか
- ・環境保全のために日頃心がけていること
- ・自然・環境破壊をくいとめるものは何
- ・自然と人間の関係
- ・信州の自然景観について
- ・美観を損ねるもの

第四回「家族」平成9年12月調査

<主な調査項目>

- ・家族と話をする頻度
- ・家庭の役割
- ・家庭生活に必要なもの
- ・望ましい家庭生活
- ・現在の家庭生活の満足度
- ・親戚づきあいの程度
- ・結婚観
- ・主導権を握るのは誰
- ・子供に期待すること
- ・青少年の犯罪の原因
- ・老後の不安

第五回「教育」平成11年3月調査

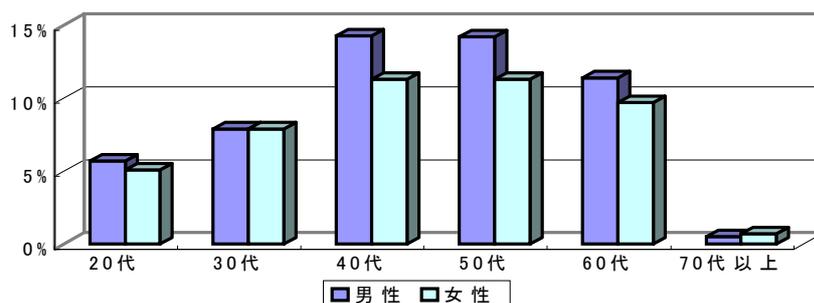
<主な調査項目>

- ・子供への接し方
- ・習い事について
- ・学校の完全週五日制について
- ・いじめにあった子供の相談相手は
- ・中・高一貫教育への期待度
- ・学習塾の必要性
- ・一芸、推薦入学の是非
- ・「長野県は教育県」と思うか
- ・期待する小学校の先生の資質
- ・学歴問題
- ・日本の教育の全体的な方向

Ⅱ サンプルの内容

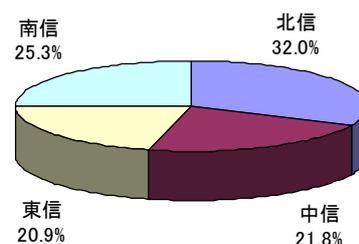
【性別と年代】

		合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	前回調査
合計		875	95	138	224	223	185	10	909
		100.0%	10.9%	15.8%	25.6%	25.5%	21.1%	1.1%	100.0%
内訳	男性	472	50	69	125	124	100	4	409
		53.9%	5.7%	7.9%	14.3%	14.2%	11.4%	0.5%	45.0%
訳	女性	403	45	69	99	99	85	6	500
		46.1%	5.1%	7.9%	11.3%	11.3%	9.7%	0.7%	55.0%



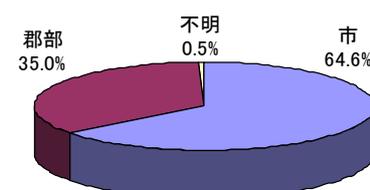
【居住地域】

		<前回調査>			
北信	280	32.0%	270	29.7%	
中信	191	21.8%	231	25.4%	
東信	183	20.9%	173	19.0%	
南信	221	25.3%	235	25.9%	



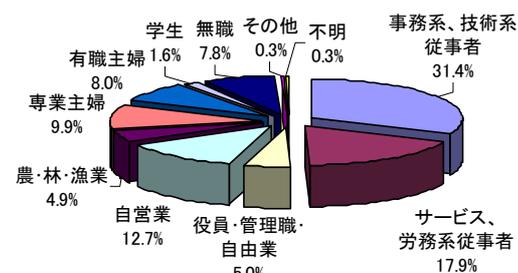
【居住地域(市・郡)】

		<前回調査>			
市	565	64.6%	577	63.5%	
郡部	306	35.0%	332	36.5%	
不明	4	0.5%	-	-	



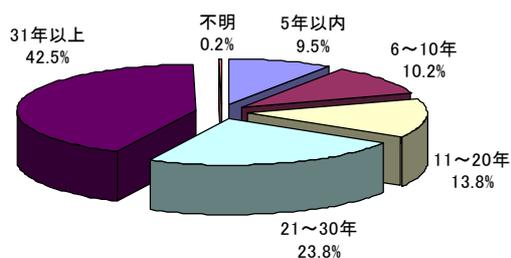
【職業】

		<前回調査>			
事務系、技術系従事者	275	31.4%	農林漁業	96	10.6%
サービス、労務系従事者	157	17.9%	商工自営	132	14.5%
役員・管理職・自由業	44	5.0%	事務・技術	217	23.9%
自営業	111	12.7%	現業労働	140	15.4%
農・林・漁業	43	4.9%	無職	59	6.5%
専業主婦	87	9.9%	学生	5	0.6%
有職主婦	70	8.0%	主婦	197	21.7%
学生	14	1.6%	その他	63	6.9%
無職	68	7.8%			
その他	3	0.3%			
不明	3	0.3%			



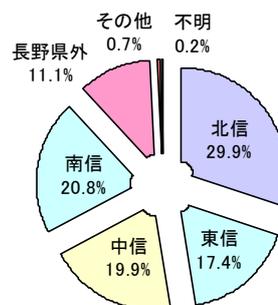
【居住年数】

5年以内	83	9.5%
6～10年	89	10.2%
11～20年	121	13.8%
21～30年	208	23.8%
31年以上	372	42.5%
不明	2	0.2%



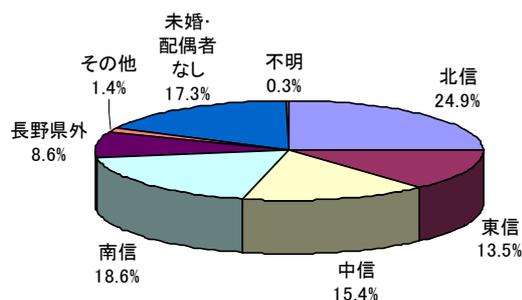
【出身地】

北信	218	24.9%
東信	118	13.5%
中信	135	15.4%
南信	163	18.6%
長野県外	75	8.6%
その他	12	1.4%
未婚・配偶者なし	151	17.3%
不明	3	0.3%



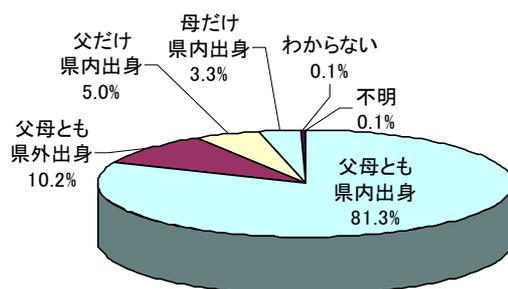
【配偶者の出身地】

北信	262	29.9%
東信	152	17.4%
中信	174	19.9%
南信	182	20.8%
長野県外	97	11.1%
その他	6	0.7%
不明	2	0.2%



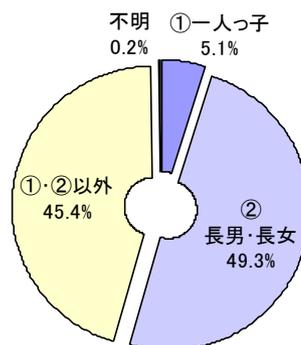
【両親の出身地】

父母とも県内出身	711	81.3%
父母とも県外出身	89	10.2%
父だけ県内出身	44	5.0%
母だけ県内出身	29	3.3%
わからない	1	0.1%
不明	1	0.1%



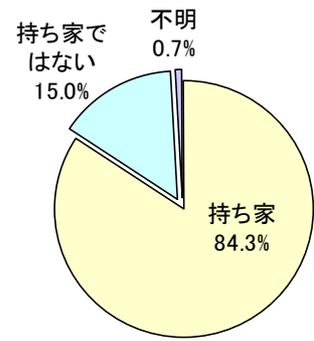
【続柄】

①一人っ子	45	5.1%
②長男・長女	431	49.3%
①・②以外	397	45.4%
不明	2	0.2%



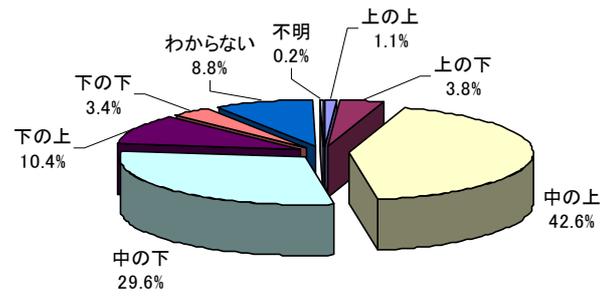
【住居】

< 前回調査 >				
持ち家	738	84.3%	785	86.4%
持ち家ではない	131	15.0%	124	13.6%
不明	6	0.7%	-	-



【家庭の階層】

< 前回調査 >				
上の上	10	1.1%	8	0.9%
上の下	33	3.8%	22	2.4%
中の上	373	42.6%	393	43.2%
中の下	259	29.6%	325	35.8%
下の上	91	10.4%	65	7.2%
下の下	30	3.4%	21	2.3%
わからない	77	8.8%	75	8.3%
不明	2	0.2%	-	-



Ⅲ 結果の概要

1994年の「われら信州人 - 郷土・地域意識編」調査からの6年間で、長野県内外の状況は著しく変貌した。バブル経済破たん続く景気低迷、国際化、IT（情報技術）革命…戦後半世紀の枠組みが大きく揺さぶられている。長野県では、冬季オリンピックの宿願が果たされ、高速交通網などの産業、生活基盤の整備は進んだものの、中心市街地の落ち込み、農林業の衰退に歯止めがかからない。

人々の行き来、情報のやりとりなど、社会の流動は加速されたにも関わらず、県民の郷土・地域に対する意識は、基層の部分が大きく揺さぶられるような変化は現われていない。

近所づきあいの希薄化や、若い年代層を中心に地域観の変化の芽生えもあるが、郷土の誇り・ポイントはいぜん「豊かな自然」と「善光寺」に集約されたまま。教育や就労など暮らしに結びつく具体的な場としては、郷土に対する期待感が薄く、時代の動きを映した広がり・多様化する郷土のイメージはいまひとつだ。むしろ、県民の意識は「土着者のタイプ」と「転入者のタイプ」が並存し、固定化していくような面も出ている。

また、県民の気質や人生観、暮らしの志向も「伝統やしきたりを大事にする」「こつこつ努力する」といったプラス評価を肯定する度合いが高いなど、長野県民・信州人にまつわる“固定観念”がなお根を張っているようだ。

長野県内の暮らし

現在の長野県内の暮らしは、全般的に「住みやすい」という人が9割を突破。6年前の前回調査よりも数ポイント上昇の勢いで、市部と町村部の違いもみられない。若年層に「住みにくい」という反応が減っている。

住みやすさの要因は「気候や自然環境」が断然トップ。次いで「近所づきあい」「交通の便」が上位に並ぶ。逆に、住みにくさの要因でも「交通の便」が「働く場の少なさ」と並んでトップにランク。3番目は「医療・保健施設の少なさ」が入った。

県外で1年以上生活した経験のある人は半数を超え、前回に比べて10ポイント以上増え、社会の流動の側面が現われたが「経験なし」がいぜん半数近くを占める。

地域社会とのかかわり

隣近所の付き合いは「会えばあいさつを交わす程度」が最も多く、前回よりも数ポイント増えた。「ひんぱんに行き来」は減少し、全般的に“淡白”な結びつきが特徴的。その一方で、日ごろ自分が「その一員」と強く感じる圏域は「隣近所・町内」が「家族」に次いで二番手に食い込んでいる。

対照的に「日本」「アジア」「地球」は下位に並び、全般的に狭いエリアに対する帰属意識が濃厚になっている。

参加している地域活動は「お祝いや不幸の手伝い」をトップに「町内会や自治会の役員」「趣味やスポーツなどのサークル活動」が上位。「社会福祉などのボランティア」や「交通安全運動」は振るわない。

現住地に対する愛着とふるさと観

今住んでいる所に、総じて愛着を感じている人は9割を超えた。前回調査とほとんど変わらない高水準だが、積極的な感度が8ポイント減少、その分「まあ愛着を感じる」といった消極的なスタンスが増えた。現住地が自分にとって「ふるさとになる」という人は、やはり9割に達する。

こうした愛着度の高さに連動するかたちで、自分には「ふるさとがある」という人は8割半ばに達した。具体的に「ふるさとと思う場」としては「自分が生まれた所」がもっとも多く「親が住んでいるところ」「自分が小学生のころを過ごした所」が上位。「今住んでいるところ」「自分が働いているところ」は下位に属する。

これからも長野県に住みたいと「思う」人は総じて9割弱。前回に比べて、若干目減りした。

自分のライフサイクルと住む場所

長野県のこんごの発展見通しは「みんなで協力すれば」と“郷土の潜在力”を自負する人が6割近く。「よほど頑張らなければ」と、やや悲観的な人は3割半ば。「このままでも」という楽観派は1割に届かない。

では、長野県はどんな世代にとって「過ごしたい所」であるのだろうか。「生まれ変わるとしたら」という仮定で検証した質問では「中学・高校時代」8割、「定年後」9割弱の高率だった半面で「大学時代」は2割台に急降下。「就業時代」も6割強とあまり振るわない。

長野の誇り・シンボル

自分たちの郷土が誇れるものは「四季の風景」と「豊かな自然」が二枚看板、前回同様に他を引き離した。上位5番には以下「温泉場・スキー場などの観光地」「温かい人情」「新鮮な野菜・果物」が入るのも前回と変わらない。

長野のシンボルは「善光寺」が断然トップを占め「日本アルプス」「上高地」「千曲川」「松本城」の順で、これも前回と同じ内容になった。

また、長野が他県に比べて「平均以上である」と思う点については「美しい自然」が抜きん出て「長い歴史と伝統」と「治安のよさ」が上位3番。「教育水準」や「経済的繁栄」は中位にとどまっている。

今回の調査では、質問の表現をあえて「長野県」と「信州」に分けて、イメージの違いを探したが、めだつた相違は出てこなかった。

住民の気質と個々の人生観

住民の気質を12項目列挙して聞いたなかで「はい」の比率がもっとも高かったのは「伝統やしきたりを大事にする」で9割を突破した。次いで高率だったのは「こつこつ努力する」「人の目を気にする」「連帯意識が強い」など、プラス的気質の評価が高めになっている。

逆に「はい」の度合いが低いのは「他人の足を引っ張りたがる」を筆頭に「進歩的である」「排他的である」といったマイナス的気質が並ぶ。評価が相半ばするのは「反骨心がある」。全般的に、プラス評価の気質を肯定的に受けとめる傾向が出ている。

人生観で肯定的な姿勢がめだつのは「世間の目などを気にせず自分に忠実に生きる」と「出世よりは自分の生活をエンジョイしたい」。逆に否定的な評価がめだつのは「平均的日本人とちょっと違う生活をしている」「他人と違う個性的な生き方をしている」。

内向きの個性志向を優先しつつ、周辺とのバランスも重視するといった微妙なスタンスがのぞかれる。

IV 単純集計

◆県外生活の「経験ある」が増え半数突破

問1 あなたは、これまで長野県以外のところで1年以上生活したことがありますか			94年調査
ある	454	51.9%	39.7%
ない	421	48.1%	60.3%

◆近所付き合いは「挨拶交わす程度」が4割半ば

問2 あなたは、隣近所との程度の交際をしていますか			97年調査
ひんぱんに行き来している家がある	157	17.9%	22.2%
時々行き来している家がある	292	33.4%	35.3%
どの家とも会えば挨拶を交わす程度	398	45.5%	37.8%
どの家ともあまり交際していない	28	3.2%	4.7%

◆「家族」トップ、続く「隣近所」「市町村」—自分がその一員

問3 あなたが日頃「その一員である」と強く感じているのはどこですか(3つ以内)			97年調査
家族	765	87.4%	85.0%
隣近所・町内会や組	529	60.5%	46.5%
市町村	464	53.0%	29.5%
北・東・中・南信	58	6.6%	*
長野県	242	27.7%	36.7%
日本	142	16.2%	28.8%
アジア	19	2.2%	3.5%
地球(国際社会)	41	4.7%	4.6%
特になし	31	3.5%	4.7%

*前回は「北・東・中・南信」の選択肢なし

◆現住地「住みよい」が9割超

問4 あなたが今、住んでいるところの「住みやすさ」は、全般的にみていかがですか			94年調査
全般的に住みやすい	425	48.6%	48.3%
どちらかといえば住みやすい	376	43.0%	39.1%
どちらかといえば住みにくい	46	5.3%	8.5%
住みにくい	11	1.3%	2.8%
わからない	17	1.9%	1.4%

◆「気候・自然環境」多く「交通の便」急伸—住みやすい理由

問5 住みやすいと思うのは、どんな点ですか(2つ以内)			94年調査
気候や自然環境がよい	578	72.2%	76.3%
近所づきあいがうまくいっている	306	38.2%	42.3%
通勤や買い物などの交通の便がよい	299	37.3%	22.7%
様々な商店があり買い物が便利	124	15.5%	19.4%
医療・保健施設が揃っている	89	11.1%	8.3%
働く場所や機会が多い	43	5.4%	9.7%
スポーツ・レジャー施設が多い	29	3.6%	4.3%
教育や学習の機会に恵まれている	26	3.2%	4.3%
その他	4	0.5%	-
特になし	6	0.7%	*

* 前回は「特になし」の選択肢なし

◆上位に「交通不便」と「少ない働き場所」—住みにくい理由

問6 住みにくいと思うのは、どんな点ですか(2つ以内)			94年調査
通勤や買い物などの交通の便が悪い	17	29.8%	50.0%
働く場所や機会が少ない	17	29.8%	11.8%
医療・保健施設が整っていない	12	21.1%	20.6%
スポーツ・レジャー施設が少ない	11	19.3%	13.7%
気候や自然環境が悪い	10	17.5%	20.6%
店が少なく、買い物が不便	9	15.8%	38.2%
近所付き合いがうまくいかない	8	14.0%	18.6%
教育や学習の機会に恵まれていない	5	8.8%	3.9%
その他	5	8.8%	13.7%
特にない	1	1.8%	*
不明	4	7.0%	-

* 前回は「特にない」の選択肢なし

◆現住地への愛着を「感じている」が9割超す

問7 あなたは、今住んでいるところにどの程度愛着を感じますか			94年調査
愛着を感じている	441	50.4%	58.2%
まあ愛着を感じている	357	40.8%	32.8%
あまり感じない	64	7.3%	7.0%
感じない	8	0.9%	1.8%
不明	5	0.6%	* 0.2%

* 前回は「不明」ではなく「どちらともいえない」

◆ふるさとが「ある」86%、「ない」14%

問8 あなたには「ふるさと」がありますか		
ある	750	85.7%
ない	123	14.1%
不明	2	0.2%

◆ふるさとは「生まれた所」「親が住む」「学童期過ごす」上位

問9 それはどんなところですか(いくつでも)		
自分が生まれたところ	665	88.7%
親が住んでいる(た)ところ	466	62.1%
自分が小学生の頃を過ごしたところ	463	61.7%
自分が中学・高校を過ごしたところ	404	53.9%
思い出やなつかしいものがあるところ	397	52.9%
今住んでいるところ	364	48.5%
友人・知人がいるところ	331	44.1%
自分が働いている(た)ところ	201	26.8%
その他	1	0.1%
不明	1	0.1%

◆現住地がふるさとに「なると思う」が圧倒的

問10 今住んでいるところがあなたのふるさとになりますか		
なると思う	111	90.2%
ならないと思う	8	6.5%
不明	4	3.3%

◆県民の誇り、自慢は「四季の風景」「豊かな自然」が双壁

問11 あなたが長野県民・信州人として誇れるもの、自慢できるものは何でしょうか(3つ以内)					
	全体(実数・%)	長野県民として	信州人として	94年調査	
四季の風景	685	78.3%	79.1%	77.4%	66.4%
豊かな自然	570	65.1%	68.7%	61.5%	57.9%
温泉場・スキー場などの観光地	255	29.1%	31.1%	27.2%	39.1%
温かい人情	205	23.4%	22.0%	24.9%	20.8%
新鮮な野菜・果物	204	23.3%	22.0%	24.7%	33.7%
そば・漬物・おやきなどの特産品	114	13.0%	12.0%	14.1%	16.2%
県歌「信濃の国」	109	12.5%	12.2%	12.7%	8.4%
長野オリンピックの開催	106	12.1%	12.7%	11.5%	15.7%
寺社などの各地の文化財	47	5.4%	5.2%	5.5%	7.5%
精密産業などの高い技術力	43	4.9%	5.9%	3.9%	7.6%
長寿県	42	4.8%	4.3%	5.3%	3.8%
教育県	24	2.7%	2.3%	3.2%	3.9%
公営ギャンブル施設がない	21	2.4%	1.8%	3.0%	2.6%
ソーブランドがない	13	1.5%	1.4%	1.6%	1.1%
県に青少年保護条例がない	8	0.9%	1.1%	0.7%	0.7%
信濃教育会	7	0.8%	0.7%	0.9%	0.9%
村の数が日本一	0	-	-	-	0.2%
特にない	10	1.1%	1.1%	1.2%	0.7%
不明	2	0.2%	0.5%	-	-

*前回調査は長野県民として

◆「善光寺」不動、「日本アルプス」も人気上昇一県のシンボル

問12 あなたが「長野県・信州のシンボル」と思うものは何でしょうか(2つ以内)					
	全 体 (実数・%)		長野県として	信州として	94年調査
善光寺	543	62.1%	62.6%	61.5%	51.9%
日本アルプス	293	33.5%	34.9%	32.0%	17.1%
上高地	120	13.7%	14.3%	13.1%	3.7%
千曲川	116	13.3%	13.6%	12.9%	3.0%
松本城	89	10.2%	9.1%	11.3%	3.7%
諏訪の御柱	79	9.0%	8.6%	9.4%	1.9%
安曇野	55	6.3%	5.7%	6.9%	1.1%
浅間山	50	5.7%	5.2%	6.2%	2.6%
諏訪大社	42	4.8%	4.8%	4.8%	2.6%
志賀高原	39	4.5%	5.2%	3.7%	1.9%
諏訪湖	29	3.3%	3.2%	3.5%	1.3%
天竜川	29	3.3%	3.2%	3.5%	0.9%
高遠の桜	27	3.1%	2.5%	3.7%	1.9%
サイトウ・キネンフェスティバル	25	2.9%	2.5%	3.2%	0.4%
御嶽山	22	2.5%	2.3%	2.8%	2.2%
美ヶ原高原	20	2.3%	2.0%	2.5%	0.8%
八ヶ岳連峰	20	2.3%	2.0%	2.5%	0.6%
東山魁夷館	12	1.4%	1.6%	1.2%	-
木曾川	11	1.3%	1.4%	1.2%	0.1%
菅平高原	10	1.1%	1.1%	1.2%	-
蓼科高原	9	1.0%	0.9%	1.2%	0.1%
野沢温泉の火祭り	6	0.7%	0.9%	0.5%	0.1%
飯田の人形カーニバル	5	0.6%	0.7%	0.5%	0.9%
天竜峡	5	0.6%	0.5%	0.7%	0.1%
鬼無里のミズバショウ	5	0.6%	0.5%	0.7%	-
信濃国分寺跡	4	0.5%	0.2%	0.7%	0.1%
更埴のアンズ	3	0.3%	-	0.7%	0.4%
野尻湖	2	0.2%	0.5%	-	-
塩田平	2	0.2%	0.5%	-	-
その他	4	0.5%	0.2%	0.7%	0.6%
特にない	10	1.1%	1.6%	0.7%	-
不明	2	0.2%	0.5%	-	1.1%

*前回は「長野県民の気質」として質問

◆ 県民気質は「伝統的」「努力型」前面に

問13 長野県民・信州人の気質について、あなたはどのように思いますか。はい・いいえでお答えください					
	全 体 (実数・%)		長野県として	信州として	94年調査
A 理屈っぽく議論好き					
はい	592	67.7%	69.2%	66.1%	69.2%
いいえ	268	30.6%	29.7%	31.6%	27.7%
不明	15	1.7%	1.1%	2.3%	* 3.1%
B 排他的である					
はい	328	37.5%	39.0%	35.9%	38.3%
いいえ	503	57.5%	57.1%	57.8%	57.1%
不明	44	5.0%	3.9%	6.2%	* 4.6%
C こつこつ努力する					
はい	713	81.5%	79.4%	83.6%	83.7%
いいえ	144	16.5%	18.6%	14.3%	13.8%
不明	18	2.1%	2.0%	2.1%	* 2.5%
D 反骨心がある					
はい	413	47.2%	46.0%	48.4%	48.7%
いいえ	425	48.6%	50.6%	46.5%	43.8%
不明	37	4.2%	3.4%	5.1%	* 7.5%
E 権力に弱い					
はい	475	54.3%	53.7%	54.8%	55.2%
いいえ	365	41.7%	42.2%	41.2%	38.5%
不明	35	4.0%	4.1%	3.9%	* 6.3%
F 進歩的である					
はい	317	36.2%	33.8%	38.7%	40.8%
いいえ	528	60.3%	63.5%	57.1%	55.2%
不明	30	3.4%	2.7%	4.1%	* 4.0%
G 社交べた					
はい	530	60.6%	60.8%	60.4%	74.3%
いいえ	323	36.9%	37.0%	36.9%	23.1%
不明	22	2.5%	2.3%	2.8%	* 2.6%
H 人の目を気にする					
はい	641	73.3%	72.3%	74.2%	75.4%
いいえ	219	25.0%	25.9%	24.2%	21.8%
不明	15	1.7%	1.8%	1.6%	* 2.9%
I 連帯意識が強い					
はい	640	73.1%	71.4%	74.9%	76.7%
いいえ	210	24.0%	25.6%	22.4%	19.8%
不明	25	2.9%	2.9%	2.8%	* 3.5%
J 伝統やしきたりを大事にする					
はい	798	91.2%	91.4%	91.0%	91.4%
いいえ	60	6.9%	7.3%	6.5%	7.8%
不明	17	1.9%	1.4%	2.5%	* 0.8%
K 他人の足を引っ張りたがる					
はい	245	28.0%	32.2%	23.7%	31.6%
いいえ	604	69.0%	65.3%	72.8%	63.4%
不明	26	3.0%	2.5%	3.5%	* 5.1%
L 明朗・快活だ					
はい	428	48.9%	49.9%	47.9%	51.7%
いいえ	417	47.7%	46.9%	48.4%	43.0%
不明	30	3.4%	3.2%	3.7%	* 5.3%

* 前回は「不明」ではなく「何とも言えない」

◆他県上回ることは「美しい自然」「歴史と伝統」が上位

問14 あなたは、長野県・信州が他の県と比べて平均以上であると思えるのはどんなことですか				
	全 体 (実数・%)		長野県として	信州として
美しい自然	823	94.1%	94.1%	94.0%
長い歴史と伝統	535	61.1%	59.4%	62.9%
治安のよさ	510	58.3%	59.0%	57.6%
すぐれた文化や芸術	346	39.5%	38.3%	40.8%
社会の安定	247	28.2%	28.8%	27.6%
自由で平和な社会	239	27.3%	25.9%	28.8%
県民としてのまとまり	237	27.1%	27.0%	27.2%
高速交通網や地域の道路網	203	23.2%	23.4%	23.0%
スポーツ施設	188	21.5%	20.9%	22.1%
教育水準	154	17.6%	16.6%	18.7%
経済的繁栄	115	13.1%	14.7%	11.5%
地元のマスコミ・報道	103	11.8%	14.1%	9.4%
教育団体	96	11.0%	11.3%	10.6%
公職につく女性の数	59	6.7%	6.8%	6.7%
インターネットの普及	48	5.5%	5.2%	5.8%
科学技術の水準	45	5.1%	5.2%	5.1%
その他	3	0.3%	0.5%	0.2%
特にない	14	1.6%	1.4%	1.8%
不明	2	0.2%	-	0.5%

◆地域社会という圏域は「市町村区」が最多、続いて「町内会」

問15 あなたは、「地域社会」というとき、どのような範囲をお考えですか		
市町村区	342	39.1%
町内会・自治会の区域	168	19.2%
市町村にまたがる区域	102	11.7%
北信・東信・中信・南信	91	10.4%
長野県全域	56	6.4%
小・中学校通学区	52	5.9%
隣近所	44	5.0%
その他	2	0.2%
わからない	17	1.9%
不明	1	0.1%

◆「皆が協力すれば発展する」が6割近く一県の将来見通し

問16 あなたは、長野県の将来についてどんな見通しをお持ちですか			94年調査
このままでも長野県はますます発展するだろう	58	6.6%	8.5%
みんなで協力すれば発展するだろう	512	58.5%	56.7%
よほど頑張らなくては、発展しないだろう	299	34.2%	34.4%
不明	6	0.7%	* 0.4%

* 前は「不明」ではなく「分からない」

◆県内に「住みたくない」は極めて少数

問17 あなたは、これからも長野県内にずっと住みたいと思いますか			94年調査
一生住みたい	580	66.3%	73.6%
できれば住みたい	187	21.4%	18.0%
できれば住みたくない	21	2.4%	2.1%
外に出たい	19	2.2%	2.6%
わからない	67	7.7%	3.6%
不明	1	0.1%	-

◆県内で過ごしたいー「定年後」が最も高率、低い「大学時代」

問18 あなたは生まれ変わるとしたら、次のA～Dの人生の期間を県内・県外どちらで過ごしたいですか			
A 中学校・高校時代			
長野県内		719	82.2%
長野県外		129	14.7%
不明		27	3.1%
B 大学時代			
長野県内		186	21.3%
長野県外		644	73.6%
不明		45	5.1%
C 就業(就職)時代			
長野県内		549	62.7%
長野県外		295	33.7%
不明		31	3.5%
D 定年後			
長野県内		779	89.0%
長野県外		75	8.6%
不明		21	2.4%

◆「出世より生活エンジョイ」に多い共感—人生観・暮らしの志向

問19 あなたご自身の考え方について、おたずねします。次のA～Lについてどう考えますか		
A 新製品が発売されたときよく人に話したり教えたりする		
そう思う	205	23.4%
まあそう思う	257	29.4%
あまりそう思わない	279	31.9%
そう思わない	132	15.1%
不明	2	0.2%
B 話題になる映画や本が出たとき人に話したり教えたりする		
そう思う	176	20.1%
まあそう思う	261	29.8%
あまりそう思わない	304	34.7%
そう思わない	129	14.7%
不明	5	0.6%
C 仲間内では物知りで通っている		
そう思う	64	7.3%
まあそう思う	193	22.1%
あまりそう思わない	373	42.6%
そう思わない	240	27.4%
不明	5	0.6%
D 他の人と違う個性的な生き方をしている		
そう思う	104	11.9%
まあそう思う	180	20.6%
あまりそう思わない	348	39.8%
そう思わない	240	27.4%
不明	3	0.3%
E 平均的日本人とちょっと違う生活をしている		
そう思う	41	4.7%
まあそう思う	70	8.0%
あまりそう思わない	341	39.0%
そう思わない	420	48.0%
不明	3	0.3%
F みんなと同じような生活をするのはつまらない		
そう思う	81	9.3%
まあそう思う	159	18.2%
あまりそう思わない	327	37.4%
そう思わない	306	35.0%
不明	2	0.2%
G 出世よりは自分の生活をエンジョイしたい		
そう思う	382	43.7%
まあそう思う	330	37.7%
あまりそう思わない	109	12.5%
そう思わない	50	5.7%
不明	4	0.5%
H 経済的に恵まれなくても気ままに楽しく暮らせればよいと思う		
そう思う	254	29.0%
まあそう思う	291	33.3%
あまりそう思わない	230	26.3%
そう思わない	97	11.1%
不明	3	0.3%

I 仕事であまり認められなくても趣味やレジャーで他人から尊敬されればよい		
そう思う	125	14.3%
まあそう思う	213	24.3%
あまりそう思わない	332	37.9%
そう思わない	199	22.7%
不明	6	0.7%
J 人生は結局ひとりぼっちだから人にたのまず自分で頑張るしかない		
そう思う	201	23.0%
まあそう思う	259	29.6%
あまりそう思わない	232	26.5%
そう思わない	179	20.5%
不明	4	0.5%
K 何かやるときは他人に頼らず自分の判断で決める		
そう思う	275	31.4%
まあそう思う	349	39.9%
あまりそう思わない	188	21.5%
そう思わない	61	7.0%
不明	2	0.2%
L 人は世間の目などを気にせずできるだけ自分に忠実に生きるのがよいと思う		
そう思う	316	36.1%
まあそう思う	365	41.7%
あまりそう思わない	138	15.8%
そう思わない	54	6.2%
不明	2	0.2%

◆地域活動の参加は「冠婚葬祭」「町内会」「サークル」多く

問20 あなたは、現在どのような活動に参加していますか(いくつでも)			総理府調査
お祝い事や不幸などの手伝い	426	48.7%	32.7%
町内会や自治会などの役員	327	37.4%	22.6%
趣味やスポーツなどのサークル活動	326	37.3%	16.8%
お祭りや運動会などのレクリエーション活動	279	31.9%	21.3%
道路や公園などの掃除作業	213	24.3%	17.6%
廃品回収作業	184	21.0%	18.2%
子供会やPTAの役員	159	18.2%	11.6%
文化や教養などの学習活動	150	17.1%	7.6%
青年団・婦人会・老人クラブの活動	109	12.5%	12.1%
防犯や防火活動	108	12.3%	7.0%
社会福祉などのボランティア活動	108	12.3%	8.6%
交通安全運動	101	11.5%	7.2%
その他	12	1.4%	0.6%
特にない	168	19.2%	34.4%
不明	3	0.3%	-

※右端のデータは、1997年12月総理府「社会意識調査」